



校長通信

令和3年度15号 令和4年11月18日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《校内持久走大会を実施しました》

11月16日（火）小春日和の絶好のコンディションのもと、市民スポーツ広場において校内持久走大会を実施しました。3年生女子、3年生男子、2年生女子、2年生男子、1年生女子、1年生男子の順にスタートしました。

穏やかな、暖かい日差しを浴びて、走るのが得意な生徒も、あまり得意でない生徒も、自分の力を出し切って、一生懸命走っていました。ゴールした時、子供たちは、達成感に満ちた最高の表情を見せてくれました。



河北中学校の教育目標は、「正しく判断し ねばり強く実践する 心豊かでたくましい生徒の育成」ですが、持久走の取組は、まさしく、ねばり強く実践する生徒の育成につながっていきます。これまでの練習も含め、持久走大会の取組が、体力の向上だけでなく、集中力や忍耐力の向上にも成果があると期待しています。

育友会の広報部の方々が、体育大会、文化祭の写真撮影に来てくれていましたが、今回も子供たちの頑張りを撮影してくれていました。育友会新聞に学校行事での子供たちの様子を掲載してくれることになっています。今から、楽しみです。また、保護者の方々も何人か、応援に来てくださっていました。子供たちの励みになったと思います。ありがとうございました。

《小春日和について》

マラソン大会当日の天候状態を、小春日和と表現しましたが、この小春日和について、少しコメントしたいと思います。ブリタニカ国際大百科事典によると、小春日和とは、晩秋から初冬にかけて現れる穏やかな暖かい天気とあります。まさしく、今頃の時期の、晴れた暖かい天気を指すこととなります。春という字があるので、春の天気を意味すると誤解している人も少なからずいるようです。

ちなみに、英語で、**Indian summer** という言葉があり、日本の小春日和とほぼ同じ意味で使われています。直訳するとインディアン（北米の原住民）の夏という意味ですが、なぜ、初冬の穏やかな天気が、**Indian summer** と言うのか、その起源は不明だそうです。インディアンが、冬に向けて秋に狩りをしていて、暖かい日が続くと動物は活発になり、苦勞せずに狩りができるからインディアンサマーと呼ばれたという説があるようです。

いずれにせよ、日本と遠く離れたアメリカで、言葉こそ違え、初冬の晴れた穏やかな天気を表す言葉があり、更に、どちらの言葉も、実際の季節（秋・冬）と違う、季節の言葉（春・夏）が使われているという共通点があり、おもしろいな～と、私は以前から思っていたので、ここでシェアさせていただきました。ご清聴ありがとうございました。